東アジア藝文書院・ジャーナリズム研究会 第四回研究会／国際 WS

EAA
EAST ASIAN ACADEMY FOR NEW LIBERAL ARTS
東アジア藝文書院

【日時】2020 年 9 月 20 日（日）
14:00～17:00（開場　13:50）

【場所】 Zoom ミーティング　以下の URL から事前登録をお願いします
https://zoom.us/meeting/register/tJAocO6orTsiHN3H3HXbK1dxNcSv68DPCoHU
※セキュリティ確保のため、氏名、メールアドレス、所属を前日までにご登録ください。

【使用言語】　日本語

【講演者・講演題目】

梁蘊嫻/LIANG Yun-Hsien（元智大学応用外国語学科准教授）
「『絵本通俗三国志』の出版―明治期日本と清朝の出版状況の比較」
（比較文学比較文化、江戸文学。主な研究に、「『呉服文織時代三国志』の虚構と真実」『国語と国文学』2017 年、「挿絵と文字テクストの相互関係研究」『台灣日語教育研究國際學術研討會』2013 年、「江戸の『絵本三国志』は明の『三国志演義』呉観明本・周曰校本をどう受容したか」『アジア遊学』勉誠出版 2013 年）

趙寛子/JO Gwan-ja（ソウル大学日本研究所教授）
「独立新聞の徐載弼――ナショナル・シンボルを創設し、ナショナル・ヒストリーの外に立たされたジャーナリスト」
（日本思想史・日韓のナショナリズム。単著に、『植民地朝鮮／帝国日本の文化連環―ナショナリズムと反復する植民地主義』有志社 2007 年、『日本ナショナリズムの思想史―「戦時 - 戦後体制」を超え、東アジアの思想課題を探る』ソウル大学出版文化院 2018 年）

土屋礼子/TSUCHIYA Reiko（早稲田大学政治経済学術院教授）
「近代日本のジャーナリズムにおける大衆化/民衆化」
（メディア史、歴史社会学。編著に、『日本メディア史年表』吉川弘文館 2018 年、『近代日本メディア人物誌～創始者・経営者篇』ミネルヴァ書房 2009 年。単著に、『宣伝ビラが語る太平洋戦争』吉川弘文館 2011 年、『大衆紙の源流―明治期小新聞の研究』世界思想社 2002 年、『大阪の錦絵新聞』三元社 1995 年）

【ディスカッサント】
前島志保/MAESHIMA Shiho（東京大学准教授）
イリナ・ホルカ/Irina Holca（東京大学准教授）

【司会】
松枝佳奈/MATSUEDA Kana（東京大学特任助教）

【懇談会】本会終了後に Zoom にて懇談会を予定しています。懇談会の URL は当日、お知らせいたします。
【連絡先】登録などに関して、なにかあれば society.of.journalism@gmail.com までご連絡ください。
【助成】本会は、EAA および学術研究助成基金助成金（挑戦的研究・萌芽（課題番号 18K18498））の助成を受けています。
【共催】東アジア藝文書院（EAA）・ジャーナリズム研究会